

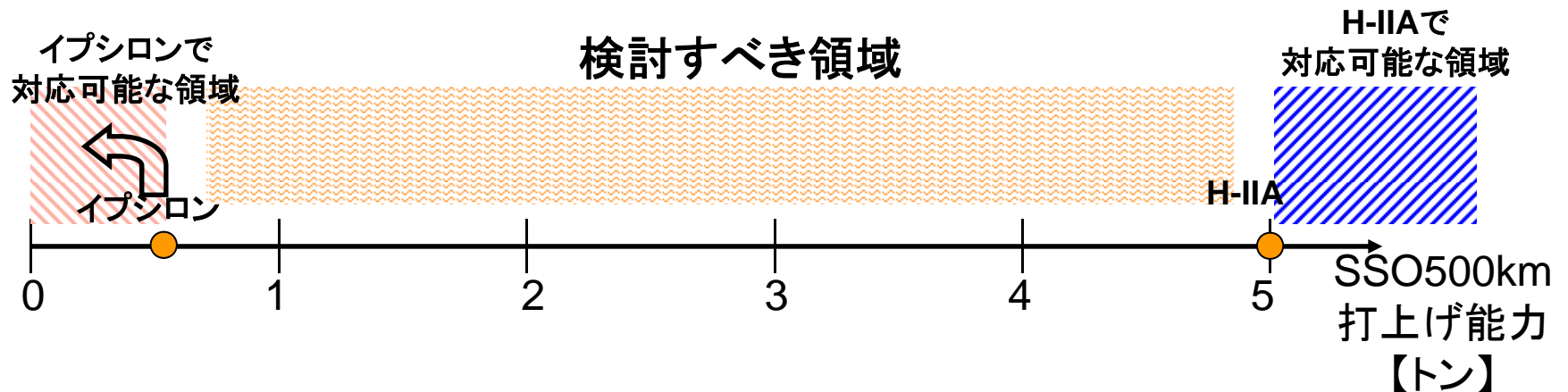
新たな基幹ロケットの
ミッション要求設定にあたっての提言
— 柔軟なミッション要求に対応する為に —

(株)IHIエアロスペース
代表取締役社長

木内 重基

2013.7.25

基幹ロケットの対応能力



- ◆ 2つの基幹ロケット(H-IIAとイプシロン)は、能力的に空白領域がある。
- ◆ 新たな基幹ロケットは、空白領域を効率的にカバーし、衛星需要に柔軟に対応して行くべきである。
- ◆ 大型、小型基幹ロケットの特徴を活かし、技術、コンポーネントの共有化、生産基盤維持の視点から、新基幹ロケットのミッション要求を設定することが、財政負担の低減及び国際競争力の観点から重要である。